

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7658978号
(P7658978)

(45)発行日 令和7年4月8日(2025.4.8)

(24)登録日 令和7年3月31日(2025.3.31)

(51)国際特許分類

F I

A 6 1 F 5/448(2006.01)

A 6 1 F 5/448

請求項の数 98 (全30頁)

(21)出願番号	特願2022-549963(P2022-549963)	(73)特許権者	508080986
(86)(22)出願日	令和3年2月19日(2021.2.19)		コンバテック リミティド
(65)公表番号	特表2023-515088(P2023-515088 A)		イギリス国, フリントシャイア シーエ
(43)公表日	令和5年4月12日(2023.4.12)		イチ5 2エヌユー, ディーサイド, デ
(86)国際出願番号	PCT/GB2021/050409		ィーサイド インダストリアル パーク,
(87)国際公開番号	WO2021/165691	(74)代理人	100145403
(87)国際公開日	令和3年8月26日(2021.8.26)		弁理士 山尾 憲人
審査請求日	令和6年1月25日(2024.1.25)	(74)代理人	100111039
(31)優先権主張番号	2002380.0		弁理士 前堀 義之
(32)優先日	令和2年2月20日(2020.2.20)	(72)発明者	ホルロイド, サイモン
(33)優先権主張国・地域又は機関	英国(GB)		英国ダブリュー 6・7 エイチジェイ、ロ
(31)優先権主張番号	2002388.3		ンドン、グレーター・ロンドン、リッチ
(32)優先日	令和2年2月20日(2020.2.20)		フォード・ストリート 8 7、ビーディデ
	最終頁に続く		ィ・グループ・リミテッド
			最終頁に続く

(54)【発明の名称】 オストミー器具のカップリングアセンブリ

(57)【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロッキング機構と、第 1 のカップリングと、第 2 のカップリングと、を含むオストミー器具のためのカップリングアセンブリであって、
ロッキング機構は、

ロッキングであって、第 1 及び / または第 2 のカップリングに取り付けられ、内周を形成し、ロック構成と非ロック構成との間で調節可能であり、ロック構成において、ロッキングは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するためであり、内周は非ロック構成におけるよりも小さい、ロッキングと、

ロッキングに取り付けられた第 1 及び第 2 のグリップであって、第 1 及び第 2 のグリップが、内周を増大させロック構成から非ロック構成へとロッキングを調節するために互いに対して移動可能にロッキングの周りに位置決めされている第 1 及び第 2 のグリップと、を含み、

カップリング開口の周りに延びるシーリング機構を含み、

シーリング機構は、結合構成において第 1 及び第 2 のカップリングの間に位置し、結合構成において、シーリング機構は軸方向に沿って圧縮されて第 1 及び第 2 のカップリングの間にシールを形成し、シーリング機構はカップリング開口に隣接し少なくとも部分的に境を接し、

第 2 のカップリングは、第 2 のカップリング壁と、第 2 のカップリング壁からカップリング開口に向かって半径方向内側に延びる第 2 のカップリング内側フランジと、を含む、

10

20

カップリングアセンブリ。

【請求項 2】

ロックリングは、ばね性があり、非ロック構成からロック構成に戻るように、弾力性のバイアスがかけられている、

請求項 1 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 3】

ロックリングは、ロック構成と非ロック構成との間で互いに相対的に移動可能な第 1 及び第 2 のロックリング端部を含む、

請求項 1 または 2 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 4】

ロックリングは、分割されている、

請求項 3 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 5】

ロック構成において、ロックリングは、内周よりも大きい長さの周囲に延在する、

請求項 3 または 4 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 6】

ロック構成において、ロックリングの長さの周りの第 1 及び第 2 のグリップの間の距離は、内周よりも大きい、

請求項 5 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 7】

ロックリングから延び、第 1 及び第 2 のグリップをそれぞれ含む第 1 及び第 2 のピンチタブをさらに含む、

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 8】

第 1 のピンチタブは、第 1 のタブ遠位端と第 1 のタブ近位端との間でロックリングの周囲に延在し、第 2 のピンチタブは、第 2 のタブ遠位端と第 2 のタブ近位端との間でロックリングの周囲に延在し、第 1 及び第 2 のタブ遠位端は、第 1 及び第 2 のグリップを形成する、

請求項 7 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 9】

ロック構成では、第 1 及び第 2 のタブ遠位端は、それぞれ第 2 及び第 1 のタブ近位端と整列する、

請求項 8 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 10】

第 1 及び第 2 のピンチタブは、第 1 及び第 2 のタブ近位端を形成するロックリングに隣接する第 1 及び第 2 のタブ近位部分と、第 1 及び第 2 のタブ近位部分から半径方向外側に延び、第 1 及び第 2 のタブ遠位端を形成する第 1 及び第 2 のタブ遠位部分と、を含む、

請求項 8 または 9 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 11】

第 1 及び第 2 のタブ遠位部分は、第 1 及び第 2 のタブ遠位端と第 1 及び第 2 のタブ内側エッジとの間でロックリングの周りに延在し、

非ロック構成では、第 1 及び第 2 のタブ遠位端は、それぞれ第 2 及び第 1 のタブ内側エッジと整列する、

請求項 10 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 12】

第 1 及び第 2 のピンチタブは、ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、互いに隣接してスライドする、

請求項 7 ～ 10 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 13】

ロックリングは、ロックリングがロック構成にあるときにカップリングアセンブリを結合

10

20

30

40

50

構成に維持するために、内周の周りに内側に延びる少なくとも１つのロックタブを含む、請求項１～１２のいずれか１つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項１４】

ロックリングは、第１のカップリングに取り付けられ、少なくとも１つのロックタブは、第１及び第２のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに第２のカップリングに係合するように構成される、請求項１３に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項１５】

第１のカップリングは、少なくとも１つの第１のカップリング開口を含み、少なくとも１つのロックタブは、第１及び第２のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに少なくとも１つの第１のカップリング開口を介して第２のカップリングに係合するように構成される、請求項１４に記載のカップリングアセンブリ。

10

【請求項１６】

第２のカップリングは、第２のカップリング外側フランジを含み、少なくとも１つのロックタブは、第１及び第２のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに、第２のカップリング外側フランジに少なくとも部分的に重なるように構成される、請求項１４または１５に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項１７】

ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、第１及び第２のグリップの半径方向及び／又は周方向の動きを拘束するように構成された第１及び／または第２のグリップ拘束機構をさらに含む、請求項１～１６のいずれか１つに記載のカップリングアセンブリ。

20

【請求項１８】

第１のグリップ拘束機構は、少なくとも１つの拘束スロットに摺動可能に取り付けられた少なくとも１つの拘束ピンを含み、少なくとも１つの拘束スロットは、ロックリング、第１のピンチタブおよび第２のピンチタブのうちの少なくとも１つに形成され、少なくとも１つの拘束ピンは、第１のカップリングに取り付けられる、またはその逆である、請求項１７に記載のカップリングアセンブリ。

30

【請求項１９】

第２のグリップ拘束機構は、少なくとも１つの半径方向に延びる拘束凹部に取り付けられた半径方向に延びる拘束突起を含み、第１のカップリングが拘束突起を含み、ロックリングが少なくとも１つの拘束凹部を含む、またはその逆である、請求項１７または１８に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項２０】

ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、ロックリングの少なくとも一部の周方向の動きを拘束するように構成されたセンタリング機構をさらに含む、請求項１～１９のいずれか１つに記載のカップリングアセンブリ。

40

【請求項２１】

センタリング機構は、少なくとも１つのセンタリング凹部に取り付けられた少なくとも１つのセンタリング突起を含み、第１のカップリングは、少なくとも１つのセンタリング突起を含み、ロックリングは、少なくとも１つのセンタリング凹部を含む、またはその逆である、請求項２０に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項２２】

カップリング開口は、第１のカップリング、第２のカップリング、及びシーリング機構と境を接する、

50

請求項 1 ~ 2 1 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 2 3】

第 1 のカップリングは、第 1 のカップリング内壁と、第 1 のカップリング内壁の周囲に延びる第 1 のカップリングチャンネルとを含む、

請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 2 4】

結合構成において、第 2 のカップリング壁が第 1 のカップリングチャンネル内に延び、
第 2 のカップリング内側フランジが第 1 のカップリング内壁上に延び、
シーリング機構が第 2 のカップリング内側フランジと第 1 のカップリング内壁との間に形成される、

10

請求項 1 ~ 2 3 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 2 5】

第 1 のカップリングは、第 1 のカップリングチャンネルの周囲に延びる第 1 のカップリング外壁を含む、

請求項 1 ~ 2 4 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 2 6】

シーリング機構は、弾力的に変形可能な材料を含む、

請求項 1 ~ 2 5 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 2 7】

シーリング機構は、シール要素を含む、

20

請求項 1 ~ 2 6 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 2 8】

シール要素は、第 2 のカップリング内側フランジと第 1 のカップリング内壁の間に取り付けられた、

請求項 2 4 または 2 5 に従属するときの請求項 2 7 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 2 9】

シール要素は、第 2 のカップリングに取り付けられる、

請求項 2 7 または 2 8 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 3 0】

シール要素は、閉じたリングを含む、

30

請求項 2 7 ~ 2 9 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 3 1】

シーリング機構は、第 2 のカップリング内側フランジ及び / 又は第 1 のカップリング内壁を含み、

第 2 のカップリング内側フランジ及び / 又は第 1 のカップリング内壁の少なくとも一部は、弾力的に変形可能な材料を含む、

請求項 2 6 ~ 3 0 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 3 2】

第 1 及び第 2 のカップリングは、カップリング開口の周囲を周方向に延びる、

請求項 1 ~ 3 1 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

40

【請求項 3 3】

第 1 のカップリング内壁及びチャンネルは、周方向に延びる、及び / 又は第 2 のカップリング壁および内側フランジは、周方向に延びる、

請求項 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 3 4】

第 2 のカップリングは、第 2 のカップリング壁からカップリング開口から半径方向外側に離れるように延びる第 2 のカップリング外側フランジを含み、かつ結合構成において、第 2 のカップリング外側フランジは、第 1 のカップリングチャンネル内で半径方向外側に延びる、

請求項 1 ~ 3 3 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

50

【請求項 35】

ロックリングは、カップリングアセンブリを結合構成に選択的に維持するために半径方向内側にカップリング開口に向かって延びる少なくとも1つのロックタブを含む、
請求項1～34のいずれか1つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 36】

少なくとも1つのロックタブは、第1及び第2のカップリングを結合構成に維持するために、第2のカップリング外壁フランジに選択的に重なるように構成される、
請求項34に従属するときの請求項35に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 37】

第1のカップリング外壁は、少なくとも1つのロックタブが、結合構成において少なくとも1つの第1のカップリング開口を通して第2のカップリング外側フランジ上に延びるように構成されるように、少なくとも1つのロックタブを受け入れるための少なくとも1つの第1のカップリング開口を含む、
請求項25～33のいずれか1つに従属するときの請求項36に記載のカップリングアセンブリ。

10

【請求項 38】

オストミー器具であって、請求項1～37のいずれか1つに記載のカップリングアセンブリと、パウチおよびウェハを含み、
ウェハおよびパウチが第1のカップリングおよび第2のカップリングの結合を解除することによって切り離され得るように、第1のカップリングはウェハに取り付けられ、第2のカップリングはパウチ取り付けられる、またはその逆である、
オストミー器具。

20

【請求項 39】

ロック機構と、第1のカップリングと、第2のカップリングと、を含むオストミー器具のためのカップリングアセンブリであって、
ロック機構は、

ロックリングであって、第1及び/または第2のカップリングに取り付けられ、内周を形成し、ロック構成と非ロック構成との間で調節可能であり、ロック構成において、ロックリングは、第1及び第2のカップリングを結合構成に維持するためであり、内周は非ロック構成におけるよりも小さい、ロックリングと、

30

ロックリングに取り付けられた第1及び第2のグリップであって、第1及び第2のグリップが、内周を増大させロック構成から非ロック構成へとロックリングを調節するために互いに対して移動可能にロックリングの周りに位置決めされている第1及び第2のグリップと、を含み、

ロックリングから延び、第1及び第2のグリップをそれぞれ含む第1及び第2のピンチタブをさらに含み、

第1のピンチタブは、第1のタブ遠位端と第1のタブ近位端との間でロックリングの周囲に延在し、第2のピンチタブは、第2のタブ遠位端と第2のタブ近位端との間でロックリングの周囲に延在し、第1及び第2のタブ遠位端は、第1及び第2のグリップを形成し、

40

ロック構成では、第1及び第2のタブ遠位端は、それぞれ第2及び第1のタブ近位端と整列する、
カップリングアセンブリ。

【請求項 40】

ロックリングは、ばね性があり、非ロック構成からロック構成に戻るように、弾力性のバイアスがかけられている、
請求項39に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 41】

ロックリングは、ロック構成と非ロック構成との間で互いに相対的に移動可能な第1及び第2のロックリング端部を含む、

50

請求項 3 9 または 4 0 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 4 2】

ロックリングは、分割されている、

請求項 4 1 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 4 3】

ロック構成において、ロックリングは、内周よりも大きい長さの周囲に延在する、

請求項 4 1 または 4 2 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 4 4】

ロック構成において、ロックリングの長さの周りの第 1 及び第 2 のグリップの間の距離は、内周よりも大きい、

10

請求項 4 3 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 4 5】

第 1 及び第 2 のピンチタブは、第 1 及び第 2 のタブ近位端を形成するロックリングに隣接する第 1 及び第 2 のタブ近位部分と、第 1 及び第 2 のタブ近位部分から半径方向外側に延び、第 1 及び第 2 のタブ遠位端を形成する第 1 及び第 2 のタブ遠位部分と、を含む、
請求項 3 9 ~ 4 4 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 4 6】

第 1 及び第 2 のタブ遠位部分は、第 1 及び第 2 のタブ遠位端と第 1 及び第 2 のタブ内側エッジとの間でロックリングの周りに延在し、
非ロック構成では、第 1 及び第 2 のタブ遠位端は、それぞれ第 2 及び第 1 のタブ内側エッジと整列する、

20

請求項 4 5 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 4 7】

第 1 及び第 2 のピンチタブは、ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、互いに隣接してスライドする、
請求項 3 9 ~ 4 6 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 4 8】

ロックリングは、ロックリングがロック構成にあるときにカップリングアセンブリを結合構成に維持するために、内周の周りに内側に延びる少なくとも 1 つのロックタブを含む、
請求項 3 9 ~ 4 7 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

30

【請求項 4 9】

ロックリングは、第 1 のカップリングに取り付けられ、少なくとも 1 つのロックタブは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに第 2 のカップリングに係合するように構成される、
請求項 4 8 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 5 0】

第 1 のカップリングは、少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口を含み、
少なくとも 1 つのロックタブは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口を介して第 2 のカップリングに係合するように構成される、
請求項 4 9 に記載のカップリングアセンブリ。

40

【請求項 5 1】

第 2 のカップリングは、第 2 のカップリング外側フランジを含み、
少なくとも 1 つのロックタブは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるとき、第 2 のカップリング外側フランジに少なくとも部分的に重なるように構成される、
請求項 4 9 または 5 0 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 5 2】

ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、第 1 及び第 2 のグリップの半径方向及び / 又は周方向の動きを拘束するように構成された第 1 及び / または第

50

2のグリップ拘束機構をさらに含む、

請求項39～51のいずれか1つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項53】

第1のグリップ拘束機構は、少なくとも1つの拘束スロットに摺動可能に取り付けられた少なくとも1つの拘束ピンを含み、

少なくとも1つの拘束スロットは、ロックリング、第1のピンチタブおよび第2のピンチタブのうちの少なくとも1つに形成され、少なくとも1つの拘束ピンは、第1のカップリングに取り付けられる、またはその逆である、

請求項52に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項54】

第2のグリップ拘束機構は、少なくとも1つの半径方向に延びる拘束凹部に取り付けられた半径方向に延びる拘束突起を含み、

第1のカップリングが拘束突起を含み、ロックリングが少なくとも1つの拘束凹部を含む、またはその逆である、

請求項52または53に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項55】

ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、ロックリングの少なくとも一部の周方向の動きを拘束するように構成されたセンタリング機構をさらに含む、

請求項39～54のいずれか1つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項56】

センタリング機構は、少なくとも1つのセンタリング凹部に取り付けられた少なくとも1つのセンタリング突起を含み、

第1のカップリングは、少なくとも1つのセンタリング突起を含み、ロックリングは、少なくとも1つのセンタリング凹部を含む、またはその逆である、

請求項55に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項57】

カップリング開口の周りに延びるシーリング機構を含み、

シーリング機構は、結合構成において第1及び第2のカップリングの間に位置し、結合構成において、シーリング機構は軸方向に沿って圧縮されて第1及び第2のカップリングの間にシールを形成し、シーリング機構はカップリング開口に隣接し少なくとも部分的に境を接する、

請求項39～56のいずれか1つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項58】

カップリング開口は、第1のカップリング、第2のカップリング、及びシーリング機構と境を接する、

請求項57のいずれか1つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項59】

オストミー器具であって、請求項39～58のいずれか1つに記載のカップリングアセンブリと、パウチおよびウェハを含み、

ウェハおよびパウチが第1のカップリングおよび第2のカップリングの結合を解除することによって切り離され得るように、第1のカップリングはウェハに取り付けられ、第2のカップリングはパウチ取り付けられる、またはその逆である、

オストミー器具。

【請求項60】

ロッキング機構と、第1のカップリングと、第2のカップリングと、を含むオストミー器具のためのカップリングアセンブリであって、

ロッキング機構は、

ロックリングであって、第1及び/または第2のカップリングに取り付けられ、内周を形成し、ロック構成と非ロック構成との間で調節可能であり、ロック構成において、ロックリングは、第1及び第2のカップリングを結合構成に維持するためであり、内周は非ロ

10

20

30

40

50

ック構成におけるよりも小さい、ロックリングと、

ロックリングに取り付けられた第 1 及び第 2 のグリップであって、第 1 及び第 2 のグリップが、内周を増大させロック構成から非ロック構成へとロックリングを調節するために互いに対して移動可能にロックリングの周りに位置決めされている第 1 及び第 2 のグリップと、を含み、

ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、第 1 及び第 2 のグリップの半径方向及び / 又は周方向の動きを拘束するように構成された第 1 及び / または第 2 のグリップ拘束機構をさらに含み、

第 1 のグリップ拘束機構は、少なくとも 1 つの拘束スロットに摺動可能に取り付けられた少なくとも 1 つの拘束ピンを含み、

少なくとも 1 つの拘束スロットは、ロックリング、第 1 のピンチタブおよび第 2 のピンチタブのうちの少なくとも 1 つに形成され、少なくとも 1 つの拘束ピンは、第 1 のカップリングに取り付けられる、またはその逆であり、

第 2 のグリップ拘束機構は、少なくとも 1 つの半径方向に延びる拘束凹部に取り付けられた半径方向に延びる拘束突起を含み、

第 1 のカップリングが拘束突起を含み、ロックリングが少なくとも 1 つの拘束凹部を含む、またはその逆である、

カップリングアセンブリ。

【請求項 6 1】

ロックリングは、ばね性があり、非ロック構成からロック構成に戻るように、弾力性のバイアスがかけられている、

請求項 6 0 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 6 2】

ロックリングは、ロック構成と非ロック構成との間で互いに相対的に移動可能な第 1 及び第 2 のロックリング端部を含む、

請求項 6 0 または 6 1 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 6 3】

ロックリングは、分割されている、

請求項 6 2 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 6 4】

ロック構成において、ロックリングは、内周よりも大きい長さの周囲に延在する、

請求項 6 2 または 6 3 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 6 5】

ロック構成において、ロックリングの長さの周りの第 1 及び第 2 のグリップの間の距離は、内周よりも大きい、

請求項 6 4 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 6 6】

ロックリングから延び、第 1 及び第 2 のグリップをそれぞれ含む第 1 及び第 2 のピンチタブをさらに含む、

請求項 6 0 ~ 6 5 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 6 7】

第 1 のピンチタブは、第 1 のタブ遠位端と第 1 のタブ近位端との間でロックリングの周囲に延在し、第 2 のピンチタブは、第 2 のタブ遠位端と第 2 のタブ近位端との間でロックリングの周囲に延在し、第 1 及び第 2 のタブ遠位端は、第 1 及び第 2 のグリップを形成する、

請求項 6 6 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 6 8】

第 1 及び第 2 のピンチタブは、第 1 及び第 2 のタブ近位端を形成するロックリングに隣接する第 1 及び第 2 のタブ近位部分と、第 1 及び第 2 のタブ近位部分から半径方向外側に延び、第 1 及び第 2 のタブ遠位端を形成する第 1 及び第 2 のタブ遠位部分と、を含む、

10

20

30

40

50

請求項 67 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 69】

第 1 及び第 2 のタブ遠位部分は、第 1 及び第 2 のタブ遠位端と第 1 及び第 2 のタブ内側エッジとの間でロックリングの周りに延在し、
非ロック構成では、第 1 及び第 2 のタブ遠位端は、それぞれ第 2 及び第 1 のタブ内側エッジと整列する、

請求項 68 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 70】

第 1 及び第 2 のピンチタブは、ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、互いに隣接してスライドする、

10

請求項 66 ~ 69 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 71】

ロックリングは、ロックリングがロック構成にあるときにカップリングアセンブリを結合構成に維持するために、内周の周りに内側に延びる少なくとも 1 つのロックタブを含む、
請求項 60 ~ 70 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 72】

ロックリングは、第 1 のカップリングに取り付けられ、少なくとも 1 つのロックタブは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに第 2 のカップリングに係合するように構成される、

20

請求項 71 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 73】

第 1 のカップリングは、少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口を含み、
少なくとも 1 つのロックタブは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口を介して第 2 のカップリングに係合するように構成される、

請求項 72 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 74】

第 2 のカップリングは、第 2 のカップリング外側フランジを含み、
少なくとも 1 つのロックタブは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるとき、第 2 のカップリング外側フランジに少なくとも部分的に重なるように構成される、

30

請求項 72 または 73 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 75】

ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、ロックリングの少なくとも一部の周方向の動きを拘束するように構成されたセンタリング機構をさらに含む、
請求項 60 ~ 74 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 76】

センタリング機構は、少なくとも 1 つのセンタリング凹部に取り付けられた少なくとも 1 つのセンタリング突起を含み、

第 1 のカップリングは、少なくとも 1 つのセンタリング突起を含み、ロックリングは、少なくとも 1 つのセンタリング凹部を含む、またはその逆である、

40

請求項 75 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 77】

カップリング開口の周りに延びるシーリング機構を含み、
シーリング機構は、結合構成において第 1 及び第 2 のカップリングの間に位置し、結合構成において、シーリング機構は軸方向に沿って圧縮されて第 1 及び第 2 のカップリングの間にシールを形成し、シーリング機構はカップリング開口に隣接し少なくとも部分的に境を接する、

請求項 60 ~ 76 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 78】

50

カップリング開口は、第 1 のカップリング、第 2 のカップリング、及びシーリング機構と境を接する、

請求項 77 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 79】

オストミー器具であって、請求項 60～78 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリと、パウチおよびウェハを含み、

ウェハおよびパウチが第 1 のカップリングおよび第 2 のカップリングの結合を解除することによって切り離され得るように、第 1 のカップリングはウェハに取り付けられ、第 2 のカップリングはパウチ取り付けられる、またはその逆である、

オストミー器具。

10

【請求項 80】

ロック機構と、第 1 のカップリングと、第 2 のカップリングと、を含むオストミー器具のためのカップリングアセンブリであって、

ロック機構は、

ロックリングであって、第 1 及び / または第 2 のカップリングに取り付けられ、内周を形成し、ロック構成と非ロック構成との間で調節可能であり、ロック構成において、ロックリングは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するためであり、内周は非ロック構成におけるよりも小さい、ロックリングと、

ロックリングに取り付けられた第 1 及び第 2 のグリップであって、第 1 及び第 2 のグリップが、内周を増大させロック構成から非ロック構成へとロックリングを調節するために互いに対して移動可能にロックリングの周りに位置決めされている第 1 及び第 2 のグリップと、を含み、

20

ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、ロックリングの少なくとも一部の周方向の動きを拘束するように構成されたセンタリング機構をさらに含み、

センタリング機構は、少なくとも 1 つのセンタリング凹部に取り付けられた少なくとも 1 つのセンタリング突起を含み、

第 1 のカップリングは、少なくとも 1 つのセンタリング突起を含み、ロックリングは、少なくとも 1 つのセンタリング凹部を含む、またはその逆である、

カップリングアセンブリ。

【請求項 81】

30

ロックリングは、ばね性があり、非ロック構成からロック構成に戻るように、弾力性のバイアスがかけられている、

請求項 80 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 82】

ロックリングは、ロック構成と非ロック構成との間で互いに相対的に移動可能な第 1 及び第 2 のロックリング端部を含む、

請求項 80 または 81 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 83】

ロックリングは、分割されている、

請求項 82 に記載のカップリングアセンブリ。

40

【請求項 84】

ロック構成において、ロックリングは、内周よりも大きい長さの周囲に延在する、

請求項 82 または 83 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 85】

ロック構成において、ロックリングの長さの周りの第 1 及び第 2 のグリップの間の距離は、内周よりも大きい、

請求項 84 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 86】

ロックリングから延び、第 1 及び第 2 のグリップをそれぞれ含む第 1 及び第 2 のピンチタブをさらに含む、

50

請求項 8 0 ~ 8 5 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 8 7】

第 1 のピンチタブは、第 1 のタブ遠位端と第 1 のタブ近位端との間でロックリングの周囲に延在し、第 2 のピンチタブは、第 2 のタブ遠位端と第 2 のタブ近位端との間でロックリングの周囲に延在し、第 1 及び第 2 のタブ遠位端は、第 1 及び第 2 のグリップを形成する、

請求項 8 6 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 8 8】

第 1 及び第 2 のピンチタブは、第 1 及び第 2 のタブ近位端を形成するロックリングに隣接する第 1 及び第 2 のタブ近位部分と、第 1 及び第 2 のタブ近位部分から半径方向外側に延び、第 1 及び第 2 のタブ遠位端を形成する第 1 及び第 2 のタブ遠位部分と、を含む、

10

請求項 8 7 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 8 9】

第 1 及び第 2 のタブ遠位部分は、第 1 及び第 2 のタブ遠位端と第 1 及び第 2 のタブ内側エッジとの間でロックリングの周りに延在し、

非ロック構成では、第 1 及び第 2 のタブ遠位端は、それぞれ第 2 及び第 1 のタブ内側エッジと整列する、

請求項 8 8 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 9 0】

第 1 及び第 2 のピンチタブは、ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、互いに隣接してスライドする、

20

請求項 8 6 ~ 8 9 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 9 1】

ロックリングは、ロックリングがロック構成にあるときにカップリングアセンブリを結合構成に維持するために、内周の周りに内側に延びる少なくとも 1 つのロックタブを含む、請求項 8 0 ~ 9 0 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 9 2】

ロックリングは、第 1 のカップリングに取り付けられ、少なくとも 1 つのロックタブは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに第 2 のカップリングに係合するように構成される、

30

請求項 9 1 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 9 3】

第 1 のカップリングは、少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口を含み、少なくとも 1 つのロックタブは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口を介して第 2 のカップリングに係合するように構成される、

請求項 9 2 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 9 4】

第 2 のカップリングは、第 2 のカップリング外側フランジを含み、

少なくとも 1 つのロックタブは、第 1 及び第 2 のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるとき、第 2 のカップリング外側フランジに少なくとも部分的に重なるように構成される、

40

請求項 9 2 または 9 3 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 9 5】

ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、第 1 及び第 2 のグリップの半径方向及び / 又は周方向の動きを拘束するように構成された第 1 及び / または第 2 のグリップ拘束機構をさらに含む、

請求項 8 0 ~ 9 4 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 9 6】

カップリング開口の周りに延びるシーリング機構を含み、

50

シーリング機構は、結合構成において第 1 及び第 2 のカップリングの間に位置し、結合構成において、シーリング機構は軸方向に沿って圧縮されて第 1 及び第 2 のカップリングの間にシールを形成し、シーリング機構はカップリング開口に隣接し少なくとも部分的に境を接する、

請求項 8 0 ~ 9 5 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 9 7】

カップリング開口は、第 1 のカップリング、第 2 のカップリング、及びシーリング機構と境を接する、

請求項 9 6 に記載のカップリングアセンブリ。

【請求項 9 8】

オストミー器具であって、請求項 8 0 ~ 9 7 のいずれか 1 つに記載のカップリングアセンブリと、パウチおよびウェハを含み、

ウェハおよびパウチが第 1 のカップリングおよび第 2 のカップリングの結合を解除することによって切り離され得るように、第 1 のカップリングはウェハに取り付けられ、第 2 のカップリングはパウチに取り付けられる、またはその逆である、

オストミー器具。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0 0 0 1】

本開示は、オストミー (o s t o m y) 器具のためのカップリングアセンブリ、およびそのようなカップリングアセンブリを含むオストミー器具に関する。

【背景技術】

【0 0 0 2】

オストメイト (o s t o m a t e : オストミー器具を必要とする人) に安全で快適な装着を提供することを目的とするオストミー器具には、多くの形態がある。オストミー器具は、一般に、ストーマ排出物 (s t o m a l o u t p u t) を収集するためのパウチを含み、一般に、ウェハ (w a f e r) によって、しばしばウェハ上の少なくとも 1 つの接着剤層を介して、身体に取り付けられる。ウェハは、オストメイトのストーマの周囲に延びる。「ツープース器具」では、ウェハをパウチに取り外し可能に取り付けるためのカップリングアセンブリが提供される。ツープース器具は、ウェハを損傷することなくパウチから分離することを可能にするので、構成要素の少なくとも 1 つが機能的に使用可能であり続ける。例えば、ウェハはオストメイトの体に固定されたまま、パウチを交換することができる。

【0 0 0 3】

E P - A - 0 7 3 7 4 5 6 は、第 1 及び第 2 のカップリング部材を有するツープース器具のためのカップリングアセンブリを開示している。これらは、ばね性のある柔軟な分割ロックリングによって一緒に保持されることができる。ロックリングのリム (l i m b) に配置された複数のタブは、ロックリングの動きによって概ね半径方向外側に引き出され、2 つのカップリング部材の分離を可能にすることができる。タブの引き出しを引き起こすロックリングの動きは、第 2 のカップリング部材に対する回転運動である。ロックリングは、第 1 及び第 2 の結合部材と一緒に保持し、意図しない結合の解除を防止するのに有効であり得る。しかし、回転運動は、カップリングアセンブリ及びウェハを介して、ストーマを囲む身体の領域にトルクを伝達することになる場合がある。これは、オストメイトに不快感を与える可能性がある。

【0 0 0 4】

G B - A - 2 3 2 3 2 8 6 は、第 1 及び第 2 のカップリング部材と、カップリング部材を互いに解放可能に固定するための機械的ロックリングとを含むツープース器具のためのカップリングアセンブリを開示している。カップリング部材の一方に設けられた歪み可能または圧縮可能なシール部材は、概して軸方向に歪んで、または圧縮して、概して軸方向のシール力を発生させる。しかしながら、ここでも、ロックリングの回転は、オストメイ

10

20

30

40

50

トの身体にトルクを伝達し、その結果、不快感を引き起こす可能性がある。さらに、ストーマ排出物が第1及び第2の結合部材の間の領域に入り込み、結合構造部が清掃しにくくなり、既存のウェハと新しい交換用パウチとの間の効果的な密封が困難になる可能性がある。

【発明の概要】

【0005】

本明細書では、「ストーマ排出物」という用語は、ストーマから分泌され得る、またはストーマから出る、オストメイトによって生成されるあらゆる気体または液体または固形物を指す。ストーマ排出物は、ストーマガス、ストーマ液体及びストーマ固形物を含んでもよい。

10

【0006】

本明細書において、「ストーマ」という用語は、身体の開口部を意味する。一般に、ストーマは、身体の胴体における外科的な開口部である。いくつかの実施態様では、用語「ストーマ」は、開口部によって露出される内部組織、器官又はその一部も指す。非限定的な例として、内部組織は、結腸、回腸、小腸、大腸、空腸、及び十二指腸、並びにそれらの組み合わせから選択されてもよい。内部組織は、小腸または大腸の端部またはループであってもよい。

【0007】

本明細書において、用語「オストメイト」は、本明細書に開示されるオストミー器具用のベルトマウントの使用を有する可能性がある対象を指す。オストメイトは通常、外科的開口部を有する対象を指すが、本明細書で使用する場合、「オストメイト」は、ストーマが手術または他の手段によって作られたかどうかにかかわらず、ストーマを有する対象を指す場合がある。「ユーザ」という用語は、オストメイト、又は、例えば、ストーマ排出物をキャビティから捨てることでオストメイトを補助する別の人を指す場合がある。

20

【0008】

本明細書において、本明細書に開示されるオストミー器具は、例えば、食道瘻、胃瘻、胆嚢瘻、胆管瘻、盲腸フィステル形成術、コロストミー、十二指腸瘻、回腸瘻、空腸瘻、盲腸瘻、気管瘻、尿道瘻、ネフロストミー、尿管瘻又は下肢切断によって生じたストーマの管理のために使用されてもよい。本明細書に開示されるオストミー器具は、シャント、カテーテル、プラグまたは糞便管理システムを含むがこれらに限定されない追加の装置と共に使用されてもよい。

30

【0009】

本明細書では、構成物の位置および方向は、オストミー器具用ベルトマウントが「使用中」、「使用中であるような方向」または同様の状態であることを参照して説明される場合がある。このような用語は、オストミー器具が現在そのような使用を実行しているかどうか、またはオストメイトの実際の位置に関係なく、オストメイトが立った状態でオストメイトの身体に固定されているときのオストミー器具用ベルトマウントの意図された向きを指す。特に、用語「上部」および「下部」は、使用時のオストミー器具またはその構成要素のそれらの位置を指す場合がある。

【0010】

40

本明細書では、ウェハは、オストミー器具をオストメイトに取り付けるために、ストーマの周りのオストメイトの身体に取り付けるためのものであってよい。「ウェハ」という用語は、「アダプタ」、「オストミー用ウェハ」、「ベースプレート」、または「層状接着剤ウェハ」という用語と互換的に使用され得る。ウェハは、ウェハをオストメイトの身体に接着させるために、身体に面する側に少なくとも1つの接着剤層を含んでいてもよい。剥離ライナーは、皮膚に装着する前にユーザによって除去されるウェハの身体に面する側を覆ってもよい。ウェハは、ベルトマウントなどの追加機能を含んでいてもよい。

【0011】

本明細書において、「パウチ」という用語は、「バッグ」という用語と互換的に使用することができ、ストーマ排出物を収集するためのキャビティを画定する少なくとも1つの

50

フィルムを含んでもよい。パウチは、ストーマの固形物をストーマの液体及び／又はガスから分離するための少なくとも１つのフィルタを含んでもよい。パウチは、パウチからストーマ排出物を選択的に排出するための少なくとも１つのドレインを含んでもよい。

【 0 0 1 2 】

したがって、本開示は、ロッキング機構と、第１のカップリングと、第２のカップリングとを含むオストミー器具のためのカップリングアセンブリを提供し、ここで、ロッキング機構は、

ロックリングであって、第１及び／または第２のカップリングに取り付けられ、内周を形成し、ロック構成と非ロック構成 (u n l o c k e d c o n f i g u r a t i o n) との間で調節可能であり、ロック構成において、ロックリングは、第１及び第２のカップリングを結合構成に維持するためであり、内周は非ロック構成におけるよりも小さい、ロックリングと、

10

ロックリングに取り付けられた第１及び第２のグリップであって、第１及び第２のグリップが、内周を増大させロック構成から非ロック構成へとロックリングを調節するために互いに対して移動可能にロックリングの周りに位置決めされている第１及び第２のグリップと、を含む。

【 0 0 1 3 】

第１及び第２のグリップは、ロック解除中に互いに対して移動可能であるので、実質的な回転トルクは、ロック解除中にカップリングアセンブリからそれに取り付けられたウェハに伝達されない。その結果、ロッキング機構は、オストメイトの快適性を向上させる。

20

【 0 0 1 4 】

ロックリングは、ばね性があり、非ロック構成からロック構成に戻るように、弾力性のバイアスが加えられていてもよい。ロックリングは、ロック構成と非ロック構成との間で互いに相対的に移動可能な第１及び第２のロックリング端部を含んでもよい。ロックリングは、分割されていてもよい。

【 0 0 1 5 】

ロック構成において、ロックリングは内周よりも大きい長さの周囲に延在してもよい。ロック構成において、ロックリングの長さの周りの第１及び第２のグリップの間の距離は内周よりも大きくてもよい。

【 0 0 1 6 】

30

カップリングアセンブリは、ロックリングから延び、第１及び第２のグリップをそれぞれ含む、第１及び第２のピンチタブをさらに含んでもよい。第１及び第２のピンチタブは、ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、互いに隣接してスライドしてもよい。

【 0 0 1 7 】

第１のピンチタブは、第１のタブ遠位端と第１のタブ近位端との間でロッキングリングの周囲に延在していてもよい。第２のピンチタブは、第２のタブ遠位端と第２のタブ近位端との間でロッキングリングの周囲に延在してもよい。第１及び第２のタブ遠位端は、第１及び第２のグリップを形成してもよい。ロック構成では、第１及び第２のタブ遠位端は、それぞれ第２及び第１のタブ近位端と整列していてもよい。第１及び第２のピンチタブは、第１及び第２のタブ近位端を形成するロックリングに隣接する第１及び第２のタブ近位部分と、第１及び第２のタブ近位部分から半径方向外側に延び、第１及び第２のタブ遠位端を形成する第１及び第２のタブ遠位部分とを含んでいてもよい。第１及び第２のタブ遠位部分は、第１及び第２のタブ遠位端と第１及び第２のタブ内側エッジとの間でロックリングの周囲に延在してもよい。非ロック構成では、第１及び第２のタブ遠位端は、それぞれ第２及び第１のタブ内側エッジと整列していてもよい。

40

【 0 0 1 8 】

ロックリングは、ロックリングがロック構成にあるときにカップリングアセンブリを結合構成に維持するために、内周の周りに内側に延びる少なくとも１つのロックタブを含んでいてもよい。ロックリングは、第１のカップリングに取り付けられてもよく、少なくとも

50

も１つのロックタブは、第１及び第２のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに第２のカップリングに係合するように構成されてもよい。

【００１９】

第１のカップリングは、少なくとも１つの第１のカップリング開口を含んでいてもよい。少なくとも１つのロックタブは、第１及び第２のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに少なくとも１つの第１のカップリング開口を介して第２のカップリングに係合するように構成されてもよい。

【００２０】

第２のカップリングは、第２のカップリング外側フランジを含んでもよい。少なくとも１つのロックタブは、第１及び第２のカップリングを結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるとき、第２のカップリング外側フランジに少なくとも部分的に重なるように構成されてもよい。

10

【００２１】

カップリングアセンブリは、ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、第１及び第２のグリップの半径方向及び／又は周方向の動きを拘束するように構成された第１及び／または第２のグリップ拘束機構 (grip constraining arrangement) を含むことができる。第１のグリップ拘束機構は、少なくとも１つの拘束スロットに摺動可能に取り付けられた少なくとも１つの拘束ピンを含んでもよい。少なくとも１つの拘束スロットは、ロックリング、第１のピンチタブおよび第２のピンチタブのうちの少なくとも１つに形成されてもよく、少なくとも１つの拘束ピンは、第１のカップリングに取り付けられてもよく、またはその逆も可能である。第２のグリップ拘束機構は、少なくとも１つの半径方向に延びる拘束凹部に取り付けられた半径方向に延びる拘束突起を含んでもよい。第１のカップリングが拘束突起を含んでもよく、ロックリングが少なくとも１つの拘束凹部を含んでもよく、またはその逆も可能である。

20

【００２２】

カップリングアセンブリは、ロックリングがロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、ロックリングの少なくとも一部の周方向の動きを拘束するように構成されたセンタリング機構を含んでいてもよい。センタリング機構は、少なくとも１つのセンタリング凹部に取り付けられた少なくとも１つのセンタリング突起を含んでいてもよい。第１のカップリングは、少なくとも１つのセンタリング突起を含んでもよく、ロックリングは、少なくとも１つのセンタリング凹部を含んでもよく、またはその逆も可能である。

30

【００２３】

カップリングアセンブリは、カップリング開口 (aperture) の周囲に延在するシーリング機構 (sealing arrangement) を含んでもよく、シーリング機構は、結合構成において第１及び第２のカップリングの間に位置し、結合構成において、シーリング機構は軸方向に沿って圧縮されて第１及び第２のカップリングの間にシールを形成し、シーリング機構はカップリング開口に隣接し少なくとも部分的に境を接する (bound)。

【００２４】

本開示は、第１のカップリングと、第２のカップリングと、カップリング開口の周囲に延在するシーリング機構とを含む、オストミー器具用のカップリングアセンブリをさらに提供し、第１及び第２のカップリングは、軸方向に沿って結合構成と一緒に結合可能であり、シーリング機構は、第１及び第２のカップリングの間に位置し、結合構成においてシーリング機構は、軸方向に沿って圧縮されて第１及び第２のカップリングの間にシールを形成し、シーリング機構は、カップリング開口に隣接し少なくとも部分的に境を接する。

40

【００２５】

したがって、シーリング機構は、ストーマ排出物が第１及び第２のカップリングの間に入るのを防ぐように配置されてもよい。その結果、第１及び第２のカップリングは、ストーマ排出物によって汚染されず、第１及び第２のカップリングは、それらの間の効果的な結合及び密封を可能にするように、より清浄に保たれることができる。

50

【 0 0 2 6 】

カップリング開口は、第 1 のカップリング、第 2 のカップリング、及びシーリング機構と境を接してもよい。特に、カップリング開口は、第 1 及び第 2 のカップリングとシーリング機構によって形成されてもよく、及び / 又は、第 1 及び第 2 のカップリングとシーリング機構は、全てカップリング開口で露出してもよい。

【 0 0 2 7 】

第 1 のカップリングは、第 1 のカップリング内壁と、第 1 のカップリング内壁の周囲に延在する第 1 のカップリングチャンネルとを含んでもよい。第 2 のカップリングは、第 2 のカップリング壁と、第 2 のカップリング壁からカップリング開口に向かって半径方向内側に延びる第 2 のカップリング内側フランジとを含んでもよい。第 1 及び第 2 のカップリングは、第 2 のカップリング壁が第 1 のカップリングチャンネル内に延び、第 2 のカップリング内側フランジが第 1 のカップリング内壁の上に延び、シーリング機構が第 2 のカップリング内側フランジと第 1 のカップリング内壁の間に形成される、結合構成と一緒に結合可能であってもよい。

10

【 0 0 2 8 】

本開示は、カップリング開口の周囲に延在する第 1 及び第 2 のカップリングと、第 1 及び第 2 のカップリングを一緒にシールするためのシーリング機構とを含むオストミー器具のためのカップリングアセンブリをさらに提供し、

第 1 のカップリングは、第 1 のカップリング内壁と、第 1 のカップリング内壁の周囲に延在する第 1 のカップリングチャンネルとを含み、

20

第 2 のカップリングは、第 2 のカップリング壁と、第 2 のカップリング壁からカップリング開口に向かって半径方向内側に延びる第 2 のカップリング内側フランジとを含み、

第 1 及び第 2 のカップリングは、第 2 のカップリング壁が第 1 のカップリングチャンネル内に延びる結合構成と一緒に結合可能であり、

第 2 のカップリング内側フランジが第 1 のカップリング内壁上に延び、シーリング機構が第 2 のカップリング内側フランジと第 1 のカップリング内壁との間に形成されている。

【 0 0 2 9 】

したがって、シーリング機構は、ストーマ排出物が第 1 のカップリングチャンネルに入るのを防ぐように配置されてもよい。その結果、第 1 のカップリングチャンネルは、ストーマ排出物によって汚染されず、第 1 及び第 2 のカップリングは、その間の効果的なカップリング及びシールを可能にするために、より清浄なままである可能性がある。

30

【 0 0 3 0 】

第 1 のカップリングは、第 1 のカップリングチャンネルの周囲に延在する第 1 のカップリング外壁を含んでいてもよい。第 1 及び第 2 のカップリングは、カップリング開口の周囲を周方向に延びていてもよい。第 1 のカップリング内壁及びチャンネルは、周方向に延びていてもよい。第 2 のカップリング壁および内側フランジは、周方向に延びていてもよい。第 2 のカップリングは、第 2 のカップリング壁からカップリング開口から半径方向外側に離れるように延びる第 2 のカップリング外側フランジを含んでもよい。結合構成において、第 2 のカップリング外側フランジは、第 1 のカップリングチャンネル内で半径方向外側に延びていてもよい。

40

【 0 0 3 1 】

シーリング機構は、弾力的に変形可能な材料を含んでもよい。シーリング機構は、第 2 のカップリング内側フランジ及び / 又は第 1 のカップリング内壁を含んでもよい。第 2 のカップリング内側フランジ及び / 又は第 1 のカップリング内壁の少なくとも一部は、弾力的に変形可能な材料を含んでもよい。

【 0 0 3 2 】

シーリング機構は、第 2 のカップリング内側フランジと第 1 のカップリング内壁の間に取り付けられたシール要素を含んでもよい。シール要素は、第 2 のカップリングに取り付けられてもよい。シール要素は、閉じたリングを含んでもよい。

【 0 0 3 3 】

50

本開示のカップリングアセンブリは、本明細書に開示された特徴の任意の組み合わせを含んでもよい。したがって、ロック機構を有するカップリングアセンブリは、第1及び第2のカップリングと一緒にシールするためのシーリング機構を含んでもよい。シーリング機構を有するカップリングアセンブリは、第1及び第2のカップリングを結合構成と一緒にロックするためのロック機構を含んでもよい。少なくとも1つのロックタブは、第1及び第2のカップリングを結合構成に維持するために、第2のカップリング外壁フランジに選択的に重なるように構成されてもよい。第1のカップリング外壁は、少なくとも1つのロックタブが、結合構成において少なくとも1つの第1のカップリング開口を通して第2のカップリング外側フランジ上に延びるように構成されるように、少なくとも1つのロックタブを受け入れるための少なくとも1つの第1のカップリング開口を含んでもよい。

10

【0034】

第1及び第2のカップリングは、それぞれオストミー器具のウェハ及びパウチに取り付けるためのものであってもよく、又はその逆であってもよい。したがって、本開示は、オストミー器具をさらに提供し、オストミー器具は、

前述のカップリングアセンブリと、パウチおよびウェハを含み、

ウェハおよびパウチが第1のカップリングおよび第2のカップリングの結合を解除することによって切り離され得るように、第1のカップリングはウェハに取り付けられ、第2のカップリングは、パウチ取り付けられ、またはその逆でもよい。

【図面の簡単な説明】

20

【0035】

次に、本開示の1つ以上の実施形態について、添付図面を参照しながら、例としてのみ説明する

【0036】

【図1】図1は、本発明に係るカップリングアセンブリを含むオストミー器具の実施形態の側面模式図である。

【図2】図2は、図1のカップリングアセンブリの斜視図であり、結合構成を示す。

【図3】図3は、図1のカップリングアセンブリの斜視図であり、非結合構成を示す。

【図4】図4は、図1のカップリングアセンブリの第1のカップリングおよびロック機構の分解斜視図である。

30

【図5】図5は、図1のカップリングアセンブリの幅にわたる側面断面図である。

【図6】図6は、図1のカップリングアセンブリの上部の斜視図であり、隠れた部分を破線で示している。

【図7】図7は、図1のカップリングアセンブリの第1のカップリングの底面の斜視図である。

【図8】図8は、図1のカップリングアセンブリの第1のカップリングの上面の斜視図である。

【図9】図9は、図1のカップリングアセンブリの第2のカップリングの部分断面図である。

【図10】図10は、図1のカップリングアセンブリのロック機構の上面斜視図であり、ロック機構の分割を示すために軸方向に撓んだ構成となっている。

40

【図11】図11は、図1のカップリングアセンブリのロック機構の上面の正面図であり、隠れた部分を破線で示している。

【図12】図12は、本発明に係るカップリングアセンブリのロック機構のさらなる実施形態のロック構成における上面正面図であり、隠れた部分を破線で示している。

【図13】図13は、本発明に係るカップリングアセンブリのロック機構のさらなる実施形態の中間の構成における上面正面図であり、隠れた部分を破線で示している。

【図14】図14は、本発明に係るカップリングアセンブリのロック機構のさらなる実施形態の非ロック構成における上面正面図であり、隠れた部分を破線で示している。

【発明を実施するための形態】

50

【 0 0 3 7 】

以下の説明において、異なる実施形態で同等または類似の特徴を示すために、同等の参照符号が使用される。他に定義されない限り、本明細書で使用される全ての技術的及び科学的用語は、請求された主題が属する技術分野の当業者によって一般的に理解されるのと同じ意味を有する。前述の開示の概要及び以下の実施例は、例示的及び説明的なものであり、請求される任意の主題を制限するものではないことが理解される。

【 0 0 3 8 】

以下の説明は、本開示の実施形態に向けられたものである。実施形態の説明は、添付の特許請求の範囲に記載される本開示の可能なすべての実施形態を含むことを意図していない。以下の実施形態に明示的に記載されていない多くの変更、改良及び等価物は、添付の特許請求の範囲の範囲に含まれ得る。ある実施形態の一部として記載された特徴は、文脈が明らかにそうでないことを要求しない限り、1つまたは複数の他の実施形態の特徴と組み合わせられ得る。

10

【 0 0 3 9 】

本開示の図及び説明の少なくとも一部は、本開示の明確な理解に関連する要素に焦点を当てるために簡略化されており、一方で、当業者が理解する必要であり得る他の要素も明確化のために省略されていることが理解されるであろう。そのような要素は、当業者である読者によく知られており、また、必ずしも本開示の理解を促進するものではないので、そのような要素の説明は、本明細書では提供しない。

【 0 0 4 0 】

20

本明細書において、単数形の使用は、文脈上明らかに他に指示されない限り、複数形を含む。本願明細書において、「または」の使用は、特に断らない限り、「及び/又は」を意味する。

【 0 0 4 1 】

図1は、ストーマ排出物を受容し格納するためのものであり、ウェハ13にカップリングアセンブリ12によって解放可能に取り付けられるパウチ11を含む、本開示に係るオストミー器具10を示す。本開示のオストミー器具10は、ツーピース器具であってよい。

【 0 0 4 2 】

図2～図14にさらに図示されているように、カップリングアセンブリ12は、第1のカップリング20、第2のカップリング40、およびロッキング機構60を含み、これらは、互いに相対的に移動可能であってもよい。カップリングアセンブリ12は、結合構成（図1、図2及び図5に図示）と非結合構成（図3に図示）との間で構成可能である。結合構成では、オストミー器具10は、ストーマ排出物を収集することによってオストメイトが使用するのに適しており、第1及び第2のカップリング20、40は、一緒に結合されるか又は取り付けられる。非結合構成では、第1及び第2のカップリング20、40は、ウェハ13及び/又はパウチ11を交換できるように、互いに結合解除又は分離されている。

30

【 0 0 4 3 】

以下の例では、パウチ11は第2のカップリング40に取り付けられ、ウェハ13は第1のカップリング20に取り付けられている。ウェハ13がオストメイトの身体に取り付けられたままパウチ11が交換される場合など、第1及び第2のカップリング20、40が結合を解除されてパウチ11をウェハ13から分離することができる。しかし、他の実施形態では、代わりにパウチ11が第1のカップリング20に取り付けられ、ウェハ13が第2のカップリング40に取り付けられてもよい。パウチ11、ウェハ13、及び第1及び/又は第2のカップリング20、40の間に追加の要素が取り付けられてもよいが、一般に第1及び第2のカップリング20、40の結合解除は、パウチ11がウェハ13から切り離され分離される結果となる。

40

【 0 0 4 4 】

第1のカップリング20及び第2のカップリング40は、ストーマ排出物が通過するためのものであり得るカップリング開口14の周囲に延在してそれを画定してもよい。した

50

がって、ストーマ排出物は、ストーマから、ウェハ開口部（図示せず）を通り、カップリング開口 1 4 を通り、パウチ開口部（図示せず）を通り、パウチ 1 1 の中に通じてもよい。

【 0 0 4 5 】

カップリングアセンブリ 1 2、第 1 のカップリング 2 0、第 2 のカップリング 4 0 及び / 又はロッキング機構 6 0 は、実質的に環状であってもよく、及び / 又は開いたリングまたは閉じたリングを含んでもよい。カップリングアセンブリ 1 2、第 1 のカップリング 2 0、第 2 のカップリング 4 0 及び / 又はロッキング機構 6 0 は、図示されているように、実質的に円形の環状体を含んでもよいが、環状体は、楕円形等の別の楕円形、又は八角形等の多角形の形状を有していてもよい。

【 0 0 4 6 】

本開示の構成要素、特にカップリングアセンブリ 1 2、第 1 のカップリング 2 0、第 2 のカップリング 4 0 及び / 又はロッキング機構 6 0 は、

- カップリング開口 1 4 およびストーマの外周の周方向 1 5 であってもよいカップリング開口 1 4 の周囲の周方向に、
 - カップリング開口 1 4 およびストーマの中心から外向き半径方向 1 6 で、実質的にオストメイトの身体に沿っていてもよいカップリング開口 1 4 から半径方向に、及び / 又は
 - 周方向および半径方向に垂直な結合開口 1 4 を通る軸方向 1 7 であってもよい軸方向に、
- 延在してもよい。

【 0 0 4 7 】

本開示の構成要素、特にカップリングアセンブリ 1 2、第 1 のカップリング 2 0、第 2 のカップリング 4 0 及び / 又はロッキング機構 6 0 は、

- カップリング開口 1 4 の周りの周方向 1 5 における寸法であってもよい長さ、
 - 半径方向 1 6 の最大外形寸法である外幅、
 - 半径方向 1 6 における内周から外周までの寸法（すなわち、環状体の幅）であってもよい幅、及び / 又は
 - 軸方向 1 7 の寸法である厚さ、
- を有していてもよい。

【 0 0 4 8 】

第 1 のカップリング 2 0 は、図 3 ~ 図 8 にさらに詳細に示されており、第 1 のカップリング内壁 2 1 と、第 1 のカップリング内壁 2 1 の周囲に延在する第 1 のカップリングチャンネル 2 2 とを含んでもよい。第 1 のカップリングチャンネル 2 2 は、結合構成において第 2 のカップリング 4 0 の少なくとも一部を受容するように構成されてもよい。第 1 のカップリング 2 0 は、第 1 のカップリングチャンネル 2 2 の周囲に延在する第 1 のカップリング外壁 2 3 を含んでもよい。第 1 のカップリングフランジ 2 4 は、第 1 のカップリングチャンネル 2 2 がその間に形成され得るように、第 1 のカップリング内壁、外壁 2 1、2 3 の間に半径方向に延在していてもよい。第 1 のカップリング内壁、外壁 2 1、2 3 は、第 1 のカップリングフランジ 2 4 から同じ軸方向 1 7 に延びていてもよく、第 1 のカップリング 2 0 は、実質的に U 字型の断面（すなわち、その幅に渡って）を有していてもよい。

【 0 0 4 9 】

第 1 のカップリング内壁、チャンネル、外壁およびフランジ 2 1、2 2、2 3、2 4 は、図示されているように、第 1 のカップリング 2 0 が閉じたリングを構成するように、カップリング開口 1 4 の周りに周方向に、好ましくはカップリング開口 1 4 の周囲に一周完全に延在してもよい。第 1 のカップリング内壁 2 2 は、カップリング開口 1 4 に実質的に軸方向に隣接して延びていてもよく、その厚さは、その幅よりも大きくてもよい。第 1 のカップリングフランジ 2 4 の幅は、その厚さよりも大きくてもよい。第 1 のカップリング外壁 2 3 の厚さ、および任意に幅は、第 1 のカップリング内壁 2 1 の厚さよりも大きくてもよい。

【 0 0 5 0 】

第 1 のカップリング 2 0 は、その外周から周方向に、かつ半径方向内側に延びる第 1 の

10

20

30

40

50

カップリングスロット 25 を含んでいてもよい。第 1 のカップリングスロット 25 は、ロッキング機構 60 の少なくとも一部を受け入れるように構成されてもよい。第 1 のカップリング外壁 23 は、第 1 のカップリング 20 の外周を形成してもよく、第 1 のカップリングスロット 25 は、第 1 のカップリング外壁 23 の周りに周方向に、および第 1 のカップリング外壁 23 の中へ半径方向内側に延在してもよい。第 1 のカップリングスロット 25 は、第 1 のカップリングスロット壁 26、27 間の外周から第 1 のカップリングスロットベース 28 まで延びていてもよく、これらの各々は、第 1 のカップリング外壁 23 の中に、および第 1 のカップリング外壁 23 によって形成されていてもよい。

【0051】

第 1 のカップリング 20 は、以下でさらに説明されるように、ロッキング機構 60 の少なくとも一部を受け入れるように構成された少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口 30 を含んでいてもよい。少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口 30 は、第 1 のカップリング外壁 23 を通って、好ましくは第 1 のカップリングスロットベース 28 を通って、第 1 のカップリングチャネル 22 まで半径方向に延びていてもよい。少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口 30 は、その長さがその厚さよりも大きくなるように、周方向に細長いものであってよい。第 1 のカップリング 20 は、好ましくは、少なくとも 4 つの第 1 のカップリング開口 30 を含み、図示されているように 6 つ含んでもよい。

【0052】

第 2 のカップリング 40 は、図 3、図 5 および図 9 にさらに詳細に示されており、第 2 のカップリング壁 41 を含んでよく、第 2 のカップリング壁 41 からカップリング開口 14 に向かって半径方向内側に延びる第 2 のカップリング内側フランジ 42 を含んでもよい。第 2 のカップリング 40 は、カップリング開口 14 から第 2 のカップリング壁 41 まで半径方向外側に延びる第 2 のカップリング外側フランジ 43 を含んでいてもよい。第 2 のカップリング内側及び外側フランジ 42、43 は、第 2 のカップリング壁 41 の軸方向に対向する端部から延びてもよい。第 2 のカップリング 40 は、実質的に Z 字型の断面を有していてもよい（すなわち、その幅にわたって）。

【0053】

第 2 のカップリング壁、内側フランジ及び/又は外側フランジ 41、42、43 は、第 2 のカップリング 40 が図示されるように閉じたリングを含むように、カップリング開口 14 の周りに周方向に、好ましくはカップリング開口 14 の周り一周完全に延在してもよい。第 2 のカップリング内側フランジ 42 は、カップリング開口 14 に隣接していてもよく、その幅はその厚さよりも大きくてもよい。第 2 のカップリング壁 41 は、その厚さがその幅よりも大きくてもよいように、実質的に軸方向に延びていてもよい。第 2 のカップリング外側フランジ 43 は、第 2 のカップリング壁 41 から外側に面する第 2 のカップリング面取り付けエッジ 44 及び/又は第 2 のカップリング壁 41 の外面に垂直な実質的に第 2 のカップリング平坦エッジ 45 を含んでもよい。

【0054】

図 2 及び図 5 に示されるように、結合構成において、第 1 のカップリング 20 は、第 2 のカップリング壁 41 が少なくとも部分的に第 1 のカップリングチャネル 22 内に位置し、その中に延在することによって第 2 のカップリング 40 に取り付けられてもよい。第 2 のカップリング壁 41 は、第 1 のカップリング内壁及び外壁 21、23 の間に位置していてもよい。第 2 のカップリング内側フランジ 42 は、第 1 のカップリング内壁 21 の上に延びていてもよく、これらは共にカップリング開口 14 を形成し、画定してもよい。第 2 のカップリング壁 41 は、第 1 のカップリング内壁 21 に隣接して配置されてもよい。第 2 のカップリング外側フランジ 43 は、第 1 のカップリング外壁 23 に隣接して位置してもよく、第 1 のカップリングチャネル 22 内で半径方向外側に延びてもよい。

【0055】

カップリングアセンブリ 12 は、結合構成にあるときに第 1 及び第 2 のカップリング 20、40 を一緒にシールするためのシーリング機構 90 をさらに含んでもよい。特に、第 1 及び第 2 のカップリング 20、40 は、軸方向 17 に沿って結合構成と一緒に結合可能

10

20

30

40

50

であってもよい。シーリング機構 9 0 は、第 1 及び第 2 のカップリング 2 0、4 0 の間に位置し、軸方向 1 7 に沿って圧縮され、結合構成において第 1 及び第 2 のカップリング 2 0、4 0 の間にシールを形成してもよい。シーリング機構 9 0 は、結合開口部 1 4、したがってそこを通過する任意のストーマ排出物に直接露出するように、結合開口部 1 4 に隣接して位置し、少なくとも部分的に結合開口部 1 4 と境を接してもよい。

【 0 0 5 6 】

シーリング機構 9 0 は、第 2 のカップリング内側フランジ 4 2 と第 1 のカップリング内壁 2 1 との間に形成されてもよい。その結果、結合開口部 1 4 を通過するストーマ排出物は、第 2 の結合内側フランジ 4 2 と第 1 のカップリング内壁 2 1 との間のインタフェースに入ることが、シーリング機構 9 0 によって直ちに防止され得る。したがって、第 1 のカップリングチャネル 2 2 は、パウチ 1 1 が交換され、新しい第 2 のカップリング 4 0 が残りの第 1 のカップリング 2 0 と結合されるときに、有効な結合及び密封が維持され得るように、清潔に保たれ得る。

10

【 0 0 5 7 】

シーリング機構 9 0 は、結合構成において圧縮されてシールを形成する弾力的に変形可能な材料を含んでもよい。シーリング機構 9 0 は、図示されているように、第 2 のカップリング内側フランジ 4 2 と第 1 のカップリング内壁 2 1 との間に取り付けられた別個のシール要素 9 1 を含んでもよい。シール要素 9 1 は、第 2 のカップリング 4 0 に、好ましくは第 2 のカップリング内側フランジ 4 2 に取り付けられてもよい。シール要素 9 1 は、実質的に環状であってよく、閉じたリング、好ましくは O リングを含んでもよい。代替的に又は追加的に、シーリング機構 9 0 が第 2 のカップリング内側フランジ 4 2 及び / 又は第 1 のカップリング内壁 2 1 を構成するように、第 2 のカップリング内側フランジ 4 2 及び / 又は第 1 のカップリング内壁 2 1 の少なくとも一部が、弾力的に変形する材料を含んでもよい。

20

【 0 0 5 8 】

ロック機構 6 0 は、第 1 及び第 2 のカップリング 2 0、4 0 を結合構成と一緒にロックするためのものである。図 4 及び 1 0 ~ 1 4 に更に詳細に示されているように、ロック機構 6 0 は、第 1 及び / 又は第 2 のカップリング 2 0、4 0 の周囲に、及び第 1 及び / 又は第 2 のカップリング 4 0 に取り付けられたロックリング 6 1 を含んでいる。特に、ロックリング 6 1 は、第 1 のカップリング 4 0 に取り付けられてもよく、その第 1 のカップリングスロット 2 5 に取り付けられ、その周囲に延在してもよい。ロックリング 6 1 は、図示されているように、環状であり、周方向に延びていてもよい。

30

【 0 0 5 9 】

ロックリング 6 1 は、内周 6 2 を有し、ロック構成 (図 2 ~ 図 6、図 1 1、図 1 2 に図示) と非ロック構成 (図 1 4 に図示) との間で調節可能である。ロック構成では、ロックリング 6 1 は、好ましくは第 1 及び第 2 のカップリング 2 0、4 0 を一緒に保持することによって、カップリングアセンブリ 1 2 を結合構成に維持するためのものであり、ロックリング 6 1 の内周 6 2 は、非ロック構成の場合よりも小さい。非ロック構成において、ロックリング 6 1 は、カップリングアセンブリ 1 2 が非結合構成に調節されることを可能にするためのものであり、特に第 1 及び第 2 のカップリング 2 0、4 0 の分離を可能にすることによって、カップリングアセンブリ 1 2 が非結合構成に調節される。

40

【 0 0 6 0 】

ロックリング 6 1 は、好ましくは少なくとも半径方向 1 6 にばね性を有していてもよく、内周 6 2 を減少させて非ロック構成からロック構成に戻るように弾力的にバイアスをかけてもよい。図示された実施形態のように、ロックリング 6 1 は、可撓性であって、その長さに沿って実質的に非伸長性であってもよい。内周 6 2 は、ロックリング 6 1 が、ロック構成と非ロック構成の間で互いに相対的に移動可能な第 1 及び第 2 のロックリング端部 6 3、6 4 を含むことによって、調節可能であってもよい。図 1 0 に最もよく示されているように、ロックリング 6 1 は、第 1 及び第 2 のロックリング端部 6 3、6 4 が自由端であるように分割されてもよい。

50

【 0 0 6 1 】

第 1 及び第 2 のロックリング端部 6 3、6 4 間のロックリング 6 1 の周囲の距離であるロックリング 6 1 の長さは、ロック構成において内周 6 2 よりも大きくてもよい。したがって、ロックリング 6 1 は、ロックリング 6 1 がそれ自体に重なる重なり部 6 5 を含んでもよい。重なり部 6 5 は、第 1 及び第 2 のロックリング端部 6 3、6 4 の間に延び、内周 6 2 が大きくなるにつれて面積が減少してもよい（図 1 2 から図 1 4 に示すように）。

【 0 0 6 2 】

ロックリング 6 1 は、ロックリング 6 1 がロック構成にあるとき、カップリングアセンブリ 1 2 を結合構成に選択的に維持するために半径方向内側に延びる少なくとも 1 つのロックタブ 6 6 を含んでもよい。ロックリング 6 1 は、その内周 6 2 が、第 1 及び第 2 のカップリング 2 0、4 0 の結合を解除できるように、少なくとも 1 つのロックタブ 6 6 を第 2 のカップリング 4 0 との係合から移動させるために十分に増長可能であるように構成されていてもよい。複数のロックタブ 6 6、好ましくは図示されているように少なくとも 4 つ、任意に 6 つ、がロックリング 6 1 の内周 6 2 の周りに配置されてもよい。

10

【 0 0 6 3 】

少なくとも 1 つのロックタブ 6 6 は、第 1 及び第 2 のカップリング 2 0、4 0 を結合構成に維持するために、結合構成及びロック構成にあるときに第 2 のカップリング 4 0 と係合するように構成されてもよい。少なくとも 1 つのロックタブ 6 6 は、少なくとも部分的に第 2 のカップリング外側フランジ 4 3 に重なるように構成されてもよく、結合構成およびロック構成にあるときに第 1 のカップリングチャネル 2 2 の中に延びてもよい。少なくとも 1 つのロックタブ 6 6 は、第 2 のカップリング外側フランジ 4 3 をそれ自身と第 1 のカップリング 2 0、特にその第 1 のカップリングフランジ 2 4 との間に選択的にロックしてもよい。少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口 3 0 は、少なくとも 1 つのロックタブ 6 6 を受け入れるように構成されてもよい。少なくとも 1 つのロックタブ 6 6 は、ロック構成および結合構成において、少なくとも 1 つの第 1 のカップリング開口 3 0 を通って延びるように構成されてもよい。

20

【 0 0 6 4 】

その、または各ロックタブ 6 6 は、ロック構成および結合構成において第 2 のカップリング平坦エッジ 4 5 を当接させるためのロックタブ平坦エッジ 6 7 を含んでもよく、結合中に第 2 のカップリング面取り付けエッジ 4 4 に対してスライドするためのロックタブ面取り付けエッジ 6 8 を含んでもよい。第 1 のカップリングチャネル 2 2 への第 2 のカップリング 4 0 の挿入の間、ロックタブ面取り付けエッジ 6 8 は、第 2 のカップリング面取り付けエッジ 4 4 に当接してスライドしてもよく、これは、ロックリング 6 1 の内周 6 2 が増加するように少なくとも 1 つのロックタブ 6 6 を半径方向外側に押し出す可能性がある。第 2 のカップリング外側フランジ 4 3 は、その後、第 1 のカップリングチャネル 2 2 内に通過してもよく、少なくとも 1 つのロックタブ 6 6 は、その後、ロックタブ平坦エッジ 6 7 が第 2 のカップリング平坦エッジ 4 5 に当接するそのロック構成に戻ってもよい。

30

【 0 0 6 5 】

ロック機構 6 0 は、内周 6 2 を調節するためにロックリング 6 1 に取り付けられた第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 を含む。第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 は、内周 6 2 を増加させ、ロック構成から非ロック構成にロックリング 6 1 を調節するために、互いに対して移動可能なようにロックリング 6 1 について配置される。そのような調節又は移動は、ユーザが第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 を一緒につまむことによって開始されてもよい。ロックリング 6 1 は、ロックリング 6 1 がロック構成から非ロック構成に調節されるように、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 を互いから離れるように弾力的にバイアスをかけられてもよい。特に、ユーザは、力を加える必要がなく、単にそれらを解放することで、それらが離れて移動することが可能になる場合がある。

40

【 0 0 6 6 】

第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 は、ロックリング 6 1 の長さの周りで互いに離間していてもよい。ロックリング 6 1 の長さの周りの第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 の間

50

の距離は、ロック構成において内周 6 2 よりも大きくてもよい。したがって、それらが押し合わされると、それらは内周 6 2 を増加させることができる。第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 は、それらが容易にアクセスできるように、使用時にカップリングアセンブリ 1 2 及びオストミー器具 1 0 の上部に配置されてもよい。

【0067】

ロッキング機構 6 0 は、ロックリング 6 1 から、好ましくは半径方向外側に延び、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 をそれぞれ形成する第 1 及び第 2 のピンチタブ 7 2、7 3 をさらに含んでもよい。第 1 及び第 2 のピンチタブ 7 2、7 3 は、ロックリング 6 1 がロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、互いに隣接してスライドすることができる。

10

【0068】

図 1 1 は、ロック構成における図 2 ~ 図 1 0 の実施形態の第 1 及び第 2 のピンチタブ 7 2、7 3 をさらに詳細に示している。図 1 2 から図 1 4 は、ロック構成 (図 1 2) から中間構成 (図 1 3) を介して非ロック構成 (図 1 4) へ移動する第 1 及び第 2 のピンチタブ 7 2、7 3 のさらなる実施形態を示す図である。共通の特徴を示すために同じ参照符号が使用されており、図 1 2 から図 1 4 に図示された第 1 及び第 2 のピンチタブ 7 2、7 3 の移動の原理は、図 2 から図 1 1 の実施形態に等しく適用される。

【0069】

第 1 のピンチタブ 7 2 は、第 1 のタブ遠位端 7 5 と第 1 のタブ近位端 7 6 との間でロッキングリング 6 1 の周囲に延在していてもよい。第 2 のピンチタブ 7 3 は、第 2 のタブ遠位端 7 7 と第 2 のタブ近位端 7 8 との間でロッキングリング 6 1 の周囲に延在していてもよい。第 1 及び第 2 のタブ遠位端 7 5、7 7 は、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 をそれぞれ形成してもよい。ロック構成において、第 1 及び第 2 のタブ遠位端 7 5、7 7 は、図 2 ~ 4、6、1 1 及び 1 2 に示されるように、第 2 及び第 1 のタブ近位端 7 8、7 6 とそれぞれ実質的に整列してもよい。この位置合わせは、第 1 及び第 2 のタブ遠位端 7 5、7 7 と第 2 及び第 1 のタブ近位端 7 8、7 6 とが隣接しているが半径方向 1 6 に沿って離れていることによるものであってよい。その結果、ユーザは、この位置合わせを触覚で確認することによって、ロッキング機構 6 0 がロック構成にあることを判断することができる場合がある。

20

【0070】

第 1 及び第 2 のピンチタブ 7 2、7 3 は、それぞれ第 1 及び第 2 のタブ近位部分 8 0、8 1 を含んでよく、これらは、ロックリング 6 1 に隣接してよく、第 1 及び第 2 のタブ近位端 7 6、7 8 を形成してもよい。第 1 及び第 2 のピンチタブ 7 2、7 3 は、第 1 及び第 2 のタブ遠位部分 8 2、8 3 をそれぞれ含んでもよく、これらは、第 1 及び第 2 のタブ近位部分 8 0、8 1 から半径方向外側に延び、第 1 及び第 2 のタブ遠位端 7 5、7 7 を形成していてもよい。第 1 及び第 2 のタブ遠位部分 8 2、8 3 は、第 1 及び第 2 のタブ遠位端 7 5、7 7 から第 1 及び第 2 のタブ内側エッジ 8 4、8 5 までロックリング 6 1 の周囲に周方向に延びてもよい。非ロック構成において、第 1 及び第 2 のタブ遠位端 7 5、7 7 は、図 1 4 に図示されるように、第 2 及び第 1 のタブ内側エッジ 8 5、8 4 とそれぞれ実質的に整列してもよい。この整列は、第 1 及び第 2 のタブ遠位端 7 5、7 7 と第 2 及び第 1 のタブ内側エッジ 8 5、8 4 が隣接するが軸方向 1 7 に沿って離間していることによるものであり得る。その結果、ユーザは、この位置合わせを触覚で確認することによって、ロッキング機構 6 0 が非ロック構成にあると判断することができてよい。

30

40

【0071】

第 1 及び第 2 のピンチタブ 7 2、7 3 がロック構成と非ロック構成との間にあるとき、図 1 3 に示されるように、第 1 及び第 2 のタブ遠位端 7 5、7 7 は、第 2 及び第 1 のタブ内側エッジ 8 5、8 4 又は第 2 及び第 1 のタブ近位端 7 8、7 6 とそれぞれ軸方向又は径方向に整列しないかもしれない。したがって、ユーザは、整列の欠如を触覚で検出し、必要に応じて第 1 及び第 2 のピンチタブ 7 2、7 3 をロック構成又は非ロック構成に移動させることが可能であってもよい。

50

【 0 0 7 2 】

カップリングアセンブリ 1 2 は、ロックリング 6 1 がロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 の半径方向及び／又は周方向の動きを拘束するように構成された第 1 及び第 2 のグリップ拘束機構 1 1 0 を含んでもよい。半径方向の拘束は、つまんでいる最中に半径方向に移動しないことによって、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 が握りやすいことを確かにし得る。周方向の拘束は、ロックリング 6 1 が第 1 のカップリング 2 0 から外れるほど第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 が押されないことを確かにし得る。

【 0 0 7 3 】

第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 の半径方向および周方向の動きを拘束するための第 1 のグリップ拘束機構 1 0 0 の特に好適な実施形態が、破線を用いて図 6 に示されている。第 1 のグリップ拘束機構 1 0 0 は、周方向に延びてもよい少なくとも 1 つの拘束スロット 1 0 3、1 0 4 に摺動可能に取り付けられた軸方向に延びてもよい少なくとも 1 つの拘束ピン 1 0 1、1 0 2 を含んでもよい。少なくとも 1 つの拘束スロット 1 0 3、1 0 4 は、ロックリング 6 1、第 1 のピンチタブ 7 2 及び第 2 のピンチタブ 7 3 のうちの少なくとも 1 つに形成されてもよく、少なくとも 1 つの拘束ピン 1 0 1、1 0 2 は、第 1 のカップリング 2 0 に取り付けられてもよく、又はその逆であってもよい。図示されるように、第 1 及び第 2 のピンチタブ 7 2、7 3 は、それぞれ第 2 及び第 1 のピンチタブ 7 3、7 2 に向かって軸方向内側を向く第 1 及び第 2 の拘束スロット 1 0 3、1 0 4 を含んでもよい。第 1 及び第 2 の拘束ピン 1 0 1、1 0 2 は、第 1 のカップリング 2 0 に対して相対的に移動できないように第 1 のカップリング 2 0 の特に拘束ピンマウント 1 0 5、1 0 6 に取り付けられてもよく、それぞれ第 2 及び第 1 の拘束スロット 1 0 4、1 0 3 に摺動可能に取り付けられてもよい。

【 0 0 7 4 】

ロック構成と非ロック構成との間の第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 の移動の間、第 1 及び第 2 の拘束スロット 1 0 3、1 0 4 は互いを越えてスライドしてもよく、第 1 及び第 2 の拘束ピン 1 0 1、1 0 2 は第 1 及び第 2 の拘束スロット 1 0 3、1 0 4 内をスライドしてもよい。第 1 及び第 2 の拘束スロット 1 0 3、1 0 4 の幅は、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 の半径方向の動きが実質的に拘束されるように、第 1 及び第 2 の拘束ピン 1 0 1、1 0 2 の直径と同じくらいである。さらに、第 1 及び第 2 の拘束スロット 1 0 3、1 0 4 の長さは、非ロック構成において、第 1 及び第 2 の拘束ピン 1 0 1、1 0 2 が第 1 及び第 2 の拘束スロット 1 0 3、1 0 4 の端部に当接するような長さである。したがって、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 は、拘束される、または周方向 1 5 においてその非ロック構成を越えて移動することを阻止される。

【 0 0 7 5 】

第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 の周方向移動を拘束するための第 2 のグリップ拘束機構 1 1 0 の特に好適な実施形態が、図 8 及び 1 1 ~ 1 4 (図 1 1 では破線を使用) に図示されている。第 2 のグリップ拘束機構 1 1 0 は、少なくとも 1 つの半径方向に延びる拘束凹部 1 1 2、1 1 3 に取り付けられた半径方向に延びる拘束突起 1 1 1 を含んでもよい。第 1 のカップリング 2 0 は、拘束突起 1 1 1 を含んでもよく、ロックリング 6 1 は、図示のように少なくとも 1 つの拘束凹部 1 1 2、1 1 3 を含んでもよく、又はその逆でもよい。拘束突起 1 1 1 (図 1 1 ~ 図 1 4 に破線で示される) は、第 1 のカップリングスロットベース 2 8 から部分的に第 1 のカップリングスロット 2 5 の中に半径方向外向きに延びていてもよい。ロックリング 6 1 は、内周 6 2 から半径方向外側に延び、その第 1 及び第 2 のロックリング端部 6 3、6 4 に向かってそれぞれ位置する第 1 及び第 2 の拘束凹部 1 1 2、1 1 3 を含んでもよい。

【 0 0 7 6 】

図 1 2 ~ 1 4 に示されるように、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 がロック構成と非ロック構成との間で移動するとき、拘束突起 1 1 1 は第 1 及び第 2 の拘束凹部 1 1 2、1 1 3 の中に留まってもよい。第 1 及び第 2 の拘束凹部 1 1 2、1 1 3 の長さ及び位置は、

10

20

30

40

50

非ロック構成において拘束突起 1 1 1 がそれらの端部（図 1 4 参照）にあるように構成されてもよい。したがって、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 は、拘束される、または周方向 1 5 において、その非ロック構成を越えて移動することを阻止される。

【0077】

図 1 1 に示されるように、一実施形態において、第 1 及び / 又は第 2 の拘束凹部 1 1 2、1 1 3 は、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 をロック構成から動かすことに対して初期抵抗を提供するように形成されてもよい。特に、第 1 及び / 又は第 2 の拘束凹部 1 1 2、1 1 3 の幅は、ロック構成における拘束突出部 1 1 1 の位置に隣接する狭窄部 1 1 4、1 1 5 において縮小されてもよい。第 1 及び / 又は第 2 の拘束凹部 1 1 2、1 1 3 及び拘束突出部 1 1 1 は、ロック構成から動くためには、この狭窄部 1 1 4、1 1 5 を突破して押されなければならない。その結果、そのようなロック解除の触覚及び / 又は聴覚フィードバックを、ユーザが検出できる。

10

【0078】

カップリングアセンブリ 1 2 は、ロックリング 6 1 がロック構成と非ロック構成との間で調節されるとき、ロックリング 6 1 の少なくとも一部の周方向の動きを拘束し阻止するように構成されたセンタリング機構 1 2 0 を含んでいてもよい。その結果、内周 6 2 が増加すると、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 の移動は、センタリング機構 1 2 0 におけるロックリング 6 1 の半径方向外側の移動に変換される。したがって、第 2 のカップリング 4 0 から離れる少なくとも 1 つのロックタブ 6 6 の対称的な引込みが達成され得る。センタリング機構 1 2 0 は、好ましくは、第 1 及び第 2 のグリップ 7 0、7 1 に対してカップリングアセンブリ 1 2 の反対側の領域に位置し、したがって、図示されているように、カップリングアセンブリ 1 2 の下側部分にあってもよい。

20

【0079】

好適な実施形態は、図 4 及び図 7 に示されており、センタリング機構 1 2 0 は、少なくとも 1 つのセンタリング凹部 1 2 2 に取り付けられた少なくとも 1 つのセンタリング突起 1 2 1 を含んでもよい。図示のように、第 1 のカップリング 2 0 は、軸方向に延びていてもよい少なくとも 1 つのセンタリング突起 1 2 1 を含み、ロックリング 6 1 は、軸方向に延びていてもよい少なくとも 1 つのセンタリング凹部 1 2 2 を含んでもよく、またはその逆でもよい。センタリング突起 1 2 1 は、第 1 のカップリングスロット 2 5 内に位置し、第 1 のカップリングスロットベース 2 8 から第 1 のカップリングスロット壁 2 6 に沿って半径方向に延在していてもよい。少なくとも 1 つのセンタリング突起 1 2 1 は、ロックリング 6 1 の内周 6 2 から延びていてもよい。センタリング機構 1 2 0 は、内周 6 2 が増加すると、ロックリング 6 1 が第 1 のカップリングスロットベース 2 8 から離れ、少なくとも 1 つのセンタリング突起 1 2 1 と少なくとも 1 つのセンタリング凹部 1 2 2 が互いに相対的にスライドするように構成されていてもよい。少なくとも 1 つのセンタリング突起及び凹部 1 2 1、1 2 2 が十分に長いことにより、それらはロック構成及び非ロック構成で係合したままであり得る。

30

【0080】

第 1 のカップリング 2 0、第 2 のカップリング 4 0 及びロッキング機構 6 0 は、各構成要素を別々にモールド成形し、次にそれらを一緒に組み立てることによって形成されてもよい。シーリング機構 9 0 は、第 1 及び / 又は第 2 のカップリング 4 0 と一緒にモールド成形されてもよく、又は組立中にそれに接続されてもよい。第 1 及び第 2 のカップリング 2 0、4 0 は、比較的剛性であってもよく、ロッキング機構 6 0 は、第 1 及び第 2 のカップリング 2 0、4 0 よりも可撓性であってもよい。

40

【0081】

第 1 のカップリング 2 0、第 2 のカップリング 4 0 及び / 又はクランプ機構 6 0 は、ポリエチレン（PE）、低密度 PE（LDPE）、高密度 PE（HDPE）、ポリプロピレンホモポリマ（PP-H）、アクリロニトリルブタジエンスチレン（ABS）、エチレンベースのオクテンプラストマ（Exact（RTM）0230 など）、ポリプロピレン（PP、例えば Sabic（RTM）58MNK 10）、熱可塑性などの少なくとも 1 つ

50

を含んでもよい。一実施形態では、第 1 及び第 2 のカップリング 2 0、4 0 は、L D P E などの P E を含んでもよく、及び / 又は、クランプ機構 6 0 は、P P - H 又は A B S を含んでもよい。

【 0 0 8 2 】

上述した実施形態の様々な代替案も、本開示の範囲に含まれる。ロックリング 6 1 は、弾性体であってもよいし、ケーブル等を含んでもよい。ロックリング 6 1 は分割されず、代わりに、第 1 及び第 2 のロックリング端部 6 3、6 4 の間に可撓性のジョイント、キャッチなどが設けられてもよい。

10

20

30

40

50

【図面】

【図 1】

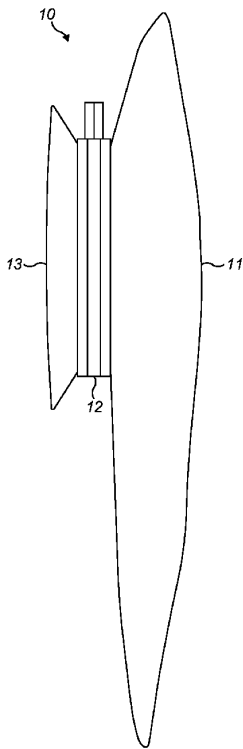


FIG. 1

【図 2】

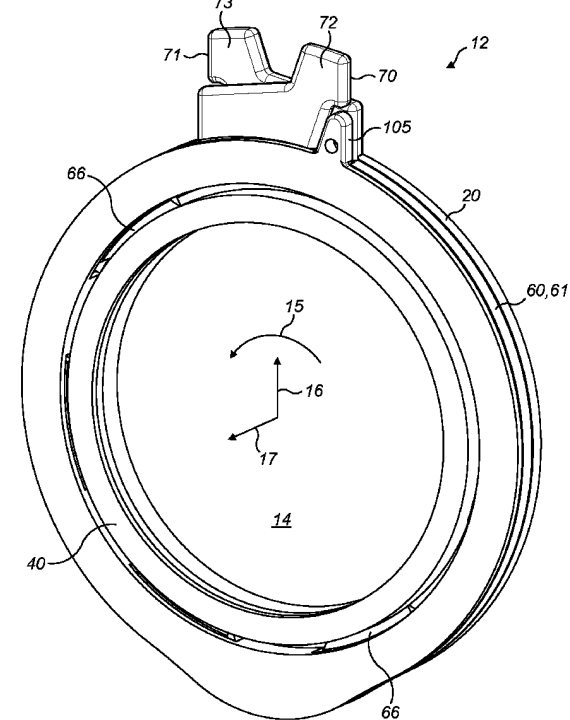


FIG. 2

【図 3】

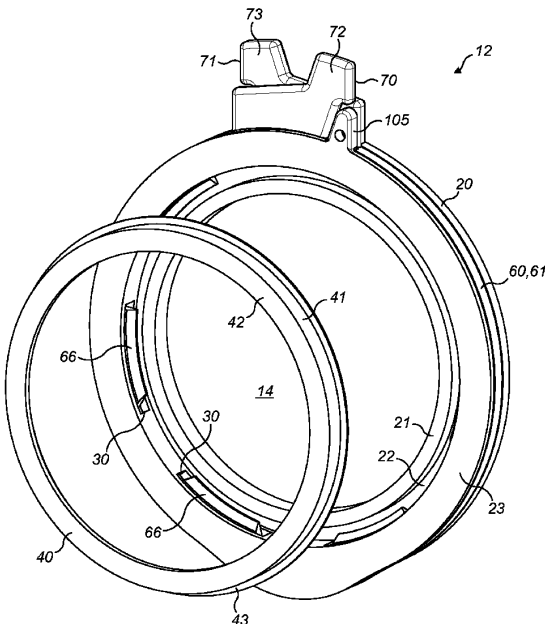


FIG. 3

【図 4】

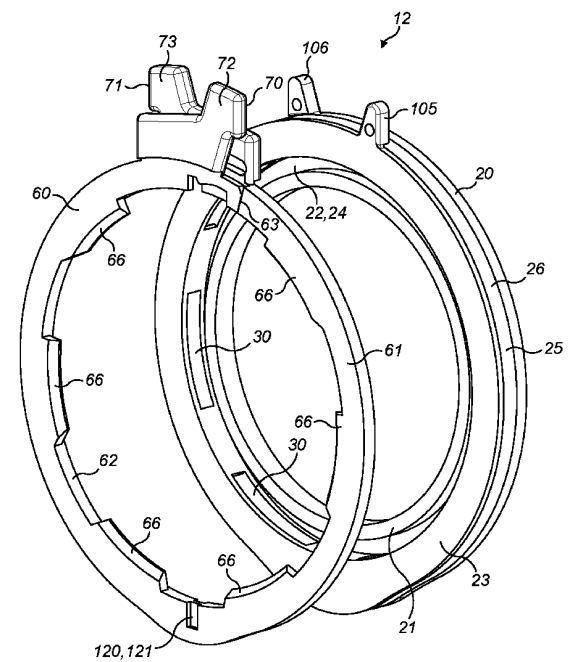


FIG. 4

10

20

30

40

50

【 図 5 】

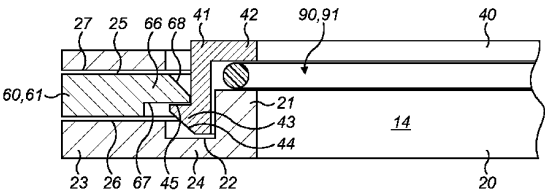


FIG. 5

【 図 6 】

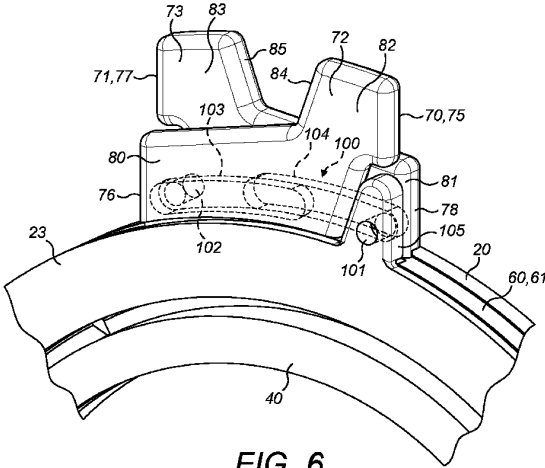


FIG. 6

【 図 7 】

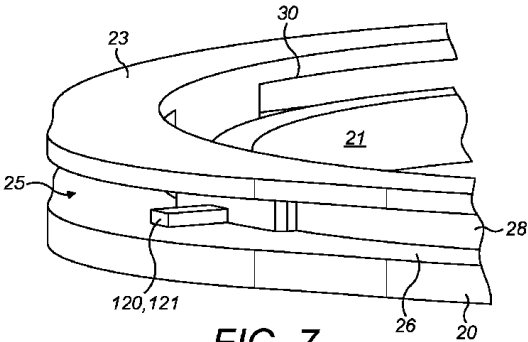


FIG. 7

【 図 8 】

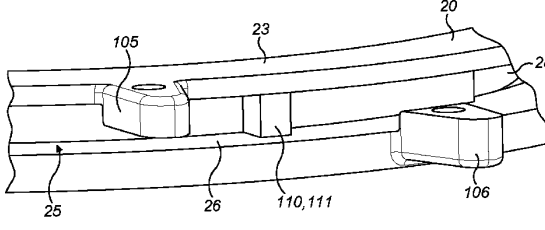


FIG. 8

【 図 9 】

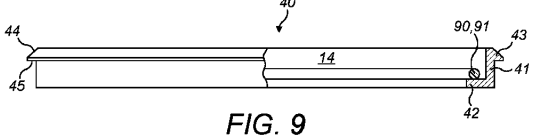


FIG. 9

【 図 10 】

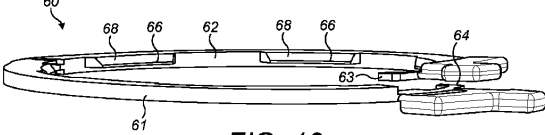


FIG. 10

10

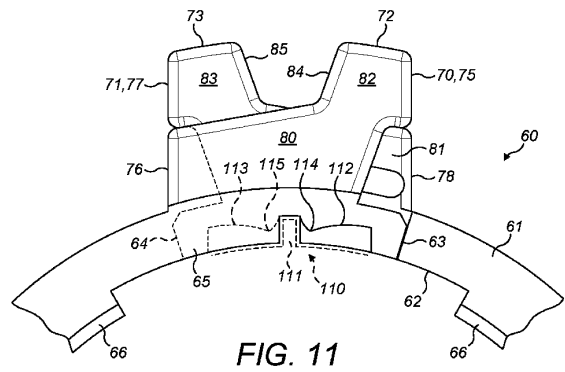
20

30

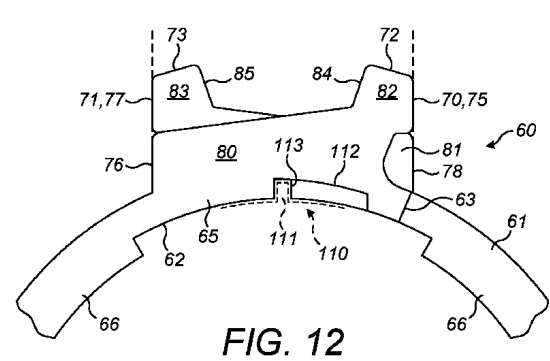
40

50

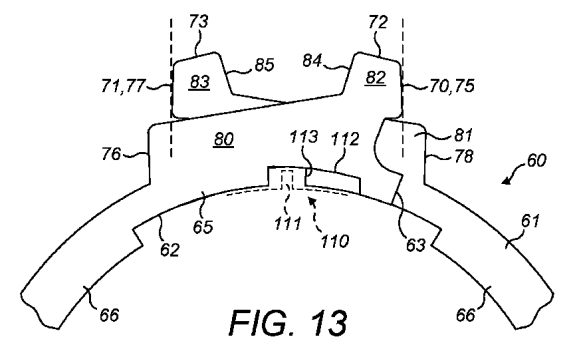
【図 1 1】



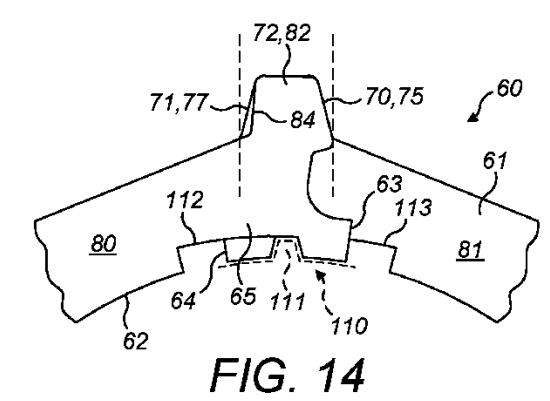
【図 1 2】



【図 1 3】



【図 1 4】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

(33)優先権主張国・地域又は機関

英国(GB)

(72)発明者 ベイカー，ドミニク

英国ダブリュー 6・7 エイチジェイ、ロンドン、グレーター・ロンドン、リッチフォード・ストリート 87、ピーディディ・グループ・リミテッド

(72)発明者 タール，シュテファン

英国ダブリュー 6・7 エイチジェイ、ロンドン、グレーター・ロンドン、リッチフォード・ストリート 87、ピーディディ・グループ・リミテッド

(72)発明者 ブレブニック，マーコ

英国ダブリュー 6・7 エイチジェイ、ロンドン、グレーター・ロンドン、リッチフォード・ストリート 87、ピーディディ・グループ・リミテッド

審査官 望月 寛

(56)参考文献 特開平 09 - 131366 (JP, A)

米国特許出願公開第 2009 / 0118687 (US, A1)

米国特許出願公開第 2015 / 0045755 (US, A1)

(58)調査した分野 (Int.Cl., DB 名)

A 61 F 5 / 448